



自分に挑戦! チャレンジ南関中

2020年6月5日発行

文責 樹本



夢を描き、絆を深め、自分に挑戦する生徒の育成～輝きと潤いのある学校づくりをめざして～

2020年度 身に付けさせたい力

「自分の未来を創造する力」・「相手意識をもった適切な対応力」・「自ら考え、自ら行動する力」

「第1回学校運営協議会」実施 (6/2)

◇本年度の委員さんは、

- ①野田 泰臣さん(関町・元教育委員)
- ②堀 千鶴子さん(九重・元園長)
- ③大石 和幸さん(関下・人権教育指導員)
- ④佐藤 安樹さん(関町・スポーツ推進委員)
- ⑤加藤美智子さん(九重・コーディネーター)

◇学校運営協議会とは、

学校の運営に関して協議するための組織です。コミュニティ・スクールを進める上での中心となります。

◇第1回運営協議会の内容は

- ①新型コロナウイルス感染拡大防止のために学校が行った対策等について説明しました。
- ②令和2年度の学校経営方針等を校長が説明して、承認をいただきました。



◇学校運営協議会が目指すものは

地域とともにある学校づくりをすすめ、「めざす南関町の子ども像」の育成に努めることです。学校・家庭・地域等が同じ方向を向いて児童生徒に関わっていかなければ実現しません。

◇「めざす南関町の子ども像」とは

- 1 南関町を誇りに思い、ふるさとを愛する子ども
- 2 明るくたくましく、元気にあいさつできる子ども
- 3 思いやりの心を持ち、自分の考えを伝えられる子ども
- 4 夢に向かって、自ら学び挑戦し続ける子ども

平成29年度に決定され、その実現に向けて教育委員会を中心に各小・中学校運営協議会で取り組んでいます。

熊本の中学生の皆さんへ

3月から約3か月間、新型コロナウイルス感染症という今まで経験したことのない病気から、大切なみなさんやご家族を守るため、学校の臨時休校をお願いしました。

今回の新型コロナウイルス感染症は、世界中で経済・医療・教育そしてスポーツ面や文化面等に多大な影響をもたらし、人々の行動や生活様式まで変えてしまいました。

中学生の皆さんも長い自粛生活が続く中で、卒業式や入学式など学年の節目となる大切な行事が予定通りに実施されなかったり、年度末や年度初めの貴重な時期を友達と過ごせなかったりなど、残念な思いをされた方もおられたことと思います。

また、多くの中学3年生にとっては、中体連の大会や吹奏楽コンクールなどが中止となり、これまで積み上げてきた努力の成果を発揮する場がなくなったことを思うと、大変胸が痛みます。

しかし、これまで皆さんが積み上げてきた努力は決して無駄にはなりません。私は、少年時代にたくさんの本を読み、自分が経験していないことや、知らない世界を本によって想像し、それがいつか自分の夢につながっていきました。これからの長い人生においては何が起きるかわかりません。自分の可能性を信じて、失敗や回り道も貴重な経験と受け止め、夢を持って、一生懸命チャレンジし続けてください。

いよいよ、学校が再開されました。

手洗い、うがい、マスクの着用をきちんと行い、明るく元気な学校生活を送ってください。みなさんの夢への挑戦を応援しています。

令和2年(2020年)6月1日 熊本県知事

6月1日学校再開と同時に届いたメッセージです。

先生の思いを通信に載せて!

本年度も定期的に学年・学級通信が発行されています。保護者の方が「今、学校では?」というときに、貴重な情報源になっていることと思います。また、学校と家庭を定期的につなぐ架け橋でもあります。

授業の合間を利用して、担任する生徒の様子を振り返り、「認め・褒め・励まし・伸ばす」の心を大切にされた内容で記載されています。これからも学級通信の発行を楽しみにさせていただきます。家庭からの意見欄もあります。家庭からの意見をいただくことで、学級・学年経営に生かされますので、返信等よろしくお願ひします。

